

<国際幼児教育学会第35回大会報告>

国際幼児教育学会第35回大会は、『子どもの意欲を育む—環境との関わりを通して—』をテーマに、山梨県の富士山の裾野、人材開発センター富士研修所（富士Calm）にて9月13日より2日間開催されました。



会場から見えた富士山

1日目のプログラム

開会式



国際幼児教育学会・学会賞受賞記念講演
『音楽胎教は新生児・乳児の心身の発達に影響を与えるか』



岡村弘氏（東京福祉大学）

記念講演 『富士山の歴史と文化について』



篠原 武氏（富士吉田市歴史博物館学芸員）

学会シンポジウムⅠ 『こどもの意欲を育む教育』

シンポジスト：周念麗（中国・華東師範大学） 中坪史典（広島大学）
吉柴ヒサ子（宇都宮大学まなびの森保育園）

コーディネーター：荻原明信（作新学院大学）

学会シンポジウムⅡ 『環境を活かした遊びと学びの国際比較』

シンポジスト：鄭錦子（『韓国・大邱大学校） 栗山昭子（芦屋大学）
山岡テイ（情報教育研究所）

コーディネーター：木村敬子（聖徳大学）





中国、韓国から参加者の先生方を交えての懇親会

2日目のプログラム

基調講演『子どもの意欲を育む一環境とのかかわりを通して』



白梅学園大学の汐見稔幸学長



ポスター発表会場



研究発表は2日間にわたり、日本人24件、中国人15件の発表がありました



皆さんで記念撮影！



エクスカーションでは、すぐお隣の北口本宮富士浅間神社境内の散策、そして一般公開にはなっていない御師菊屋を訪れて御師のみなさんが富士山と共に歩んできた歴史に触れ、手作りのお菓子とお茶を楽しみました

